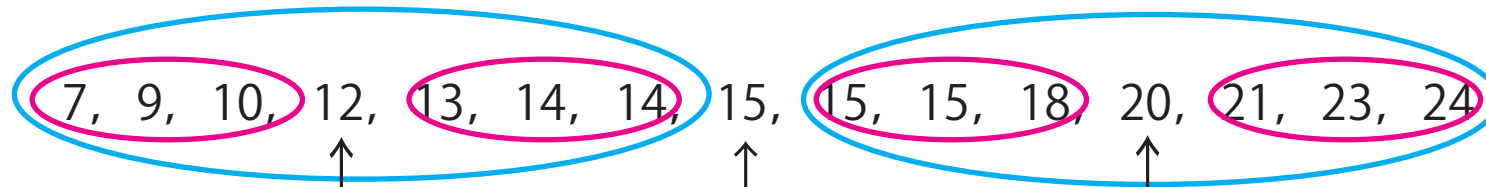


データの活用 箱ひげ図

下のデータは中学生の1週間の勉強時間を調べて短い方から順に並べたデータである。

7, 9, 10, 12, 13, 14, 14, 15, 15, 15, 18, 20, 21, 23, 24 (時間)

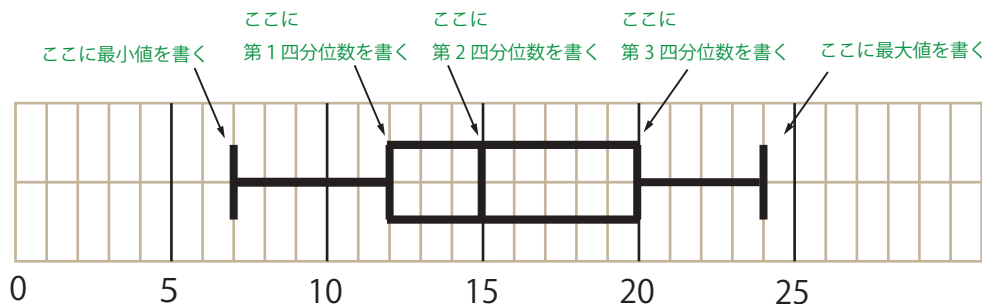


残りのちょうど真ん中の
4番目の人が第1四分位数となる

15人いるのでちょうど真ん中の
8番目の人が第2四分位数(中央値)となる

残りのちょうど真ん中の
12番目の人が第3四分位数となる

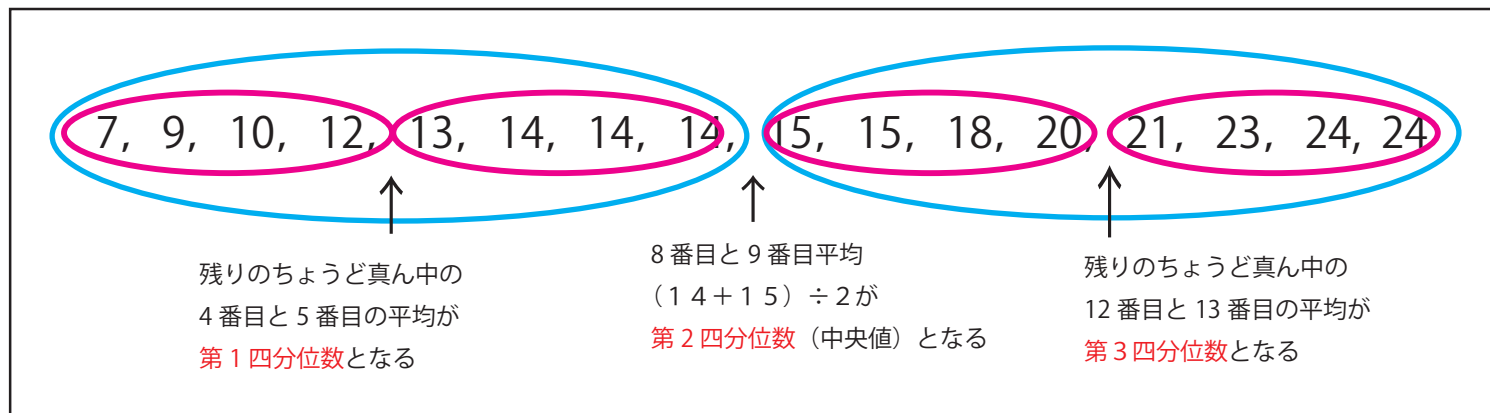
四分位範囲は
第3四分位数-第1四分位数
なので $20-12=8$ となる



この箱ひげ図から読み取れること(大切!!)

第1四分位数の値から12時間以下の人が四人いるということ
第2四分位数から少なくとも半分以上の生徒が
15時間以上(15時間以下)であること。
第3四分位数から20時間以上の生徒は4人以上いるということ
最大値が24時間で最小値が7時間ということ
中央値が15時間であるということ
最頻値や平均値は読み取れないので注意

※人数が16人(偶数)の場合



残りのちょうど真ん中の
4番目と5番目の平均が
第1四分位数となる

8番目と9番目平均
 $(14+15) \div 2$ が
第2四分位数(中央値)となる

残りのちょうど真ん中の
12番目と13番目の平均が
第3四分位数となる